

資産運用レポート：この親にしてこの子あり

1 はじめに

村上世彰氏の著書『生涯投資家』より引用します。

父の仕事は投資家だった。

私の最も尊敬している投資家は、父である。投資哲学は、すべて父から学んだ。

投資家の資質というのは、3割はDNA的に受け継ぐもので、7割は経験だと思う。私は全体の3割を占めるDNA部分を、父から受け継いだ。

小さい頃から数学が得意だったし、投資に対するセンスもあると自負している。その上、これまでの経験の半分は父からもらったものだから、私を投資家ならしめたのは父だと実感している。

投資家の子どもとして生まれた私は、なるべくして投資家になったのだ。

ここの文面だけで、本書を購入した価値がありました。

私も今では「投資家として成功するか否か、どのような手法が向いているかは、投資を始める前からほぼ決まっている」と考えています。

投資家として財を成せるのは「投資に向いているDNAを受け継ぎ、試行錯誤の末に本人に合った投資手法にたどり着き、自分の経験から学ぶことができる」タイプの人間です。

自分の知っている狭い世界でお会いした、株式投資で数億円の資産を築いた個人投資家さんを見る限り、そう思えてなりません。

さて前置きはほどほどにして、本題に入りましょう。今月号の資産運用レポートでは、優れたDNAを受け継いだ投資家とその保有銘柄を取り上げます。